会 議 記 録

会議名称	令和2年度 第1回文化財審議委員会
開催日時	令和2年7月29日(水)午後2時から午後3時30分まで
開催場所	青少年女性センター301会議室
出席者	<委員>
	茂渡委員長、金子副委員長、岡田委員、上月委員、荘所委員、友久委員、
	藤原委員
	<事務局>
	教育指導部 杉本次長
	文化財調査研究センター 沼田所長、宮本副所長、高下主査
会議次第	1 開会
	委員長あいさつ
	2 議事
	(1) 令和元年度文化財関係事業及び決算について (報告)
	(2) 令和2年度文化財関係事業及び予算について (報告)
	(3) 埋蔵文化財発掘調査 (本発掘調査) 状況について (報告)
	(4) その他、指定文化財候補及び文化財行政に係る意見交換など
	3 閉会
	副委員長あいさつ

議事内容

1 開会 委員長あいさつ

2 議事

(1) 令和元年度文化財関係事業及び決算について(報告)

事務局から令和元年度文化財関係事業及び令和元年度決算について報告があった。

委員から、野口町坂元の石造宝篋印塔の積直し修理時に出土品があった場合の調査対応について意見があり、事務局から「貴重な遺物等が見つかった場合は専門家を呼んで調査を行う。」と回答があった。

(2) 令和2年度文化財関係事業及び予算について(報告)

事務局から令和2年度文化財関係事業及び令和2年度予算について報告があった。

委員から「新型コロナウィルス感染症の影響で中止する講座について、 動画配信で実施できないか。」という質問があり、事務局から「今のところ 考えてない。中止した事業の代替として、市ホームページにある指定文化 財の紹介の充実を考えている。なお、動画配信の実施については、今後の 参考として検討する。」と回答があった。 (3) 埋蔵文化財発掘調査(本発掘調査)状況について(報告)

事務局から美乃利遺跡と広沢山遺跡の発掘調査について報告があった。

また、広沢山遺跡については、新たな古墳が発見されたことの報告があった。この場所は神納塚(カノウヅカ)と呼ばれていること、この古墳は記録保存の方向で作業を進めていることの説明があった。

委員から「新しく発見された古墳が(工事で)潰れてしまうのであれば、 現地に説明板を設置してほしい。」という意見があり、事務局から、その方 向で調整するとの回答があった。

(4) その他、指定文化財候補及び文化財行政に係る意見交換など

ア 市指定文化財に係る報告等

加古川市指定文化財について、前回の審議会で答申した「画文帯神獣 鏡」(里古墳出土)が、令和2年3月12日に市指定文化財に指定された ことについて報告があった。

イ 国・県指定文化財等に係る報告等

鶴林寺国宝本堂等防災施設整備事業を今年度に行うこと、同じく鶴林 寺重要文化財鐘楼等修理事業の計画(令和3年度以降に国庫補助事業と して実施予定)、野口町坂元の県指定文化財石造宝篋印塔修理事業の計画 について報告があった。

ウ 埋蔵文化財に係る報告等

令和2年3月に3件の埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行したこと、平成26年度以降の文化財調査で報告書が未刊行のものの刊行計画について報告があった。

エ 文化財関係刊行物に係る報告

「文化財ニュース 63 号」「加古川市文化財年報第 3 号(平成 29 年度)」 「文化財解説シート 21-24 号」「加古川市歴史文化基本構想 概要版」の 発行について報告があった。

オ 指定候補について意見交換

事務局から委員に、指定候補がある場合は紹介するよう依頼があった。

カ その他、文化財に係る意見交換

委員から「刊行した報告書の内容などを学会誌等に投稿するなど能動的に市から働きかけてはどうか。」という意見があり、事務局から「報告書作成者が学術誌等に投稿するより、まずは、研究者が引用できるように、きちんとした報告書を刊行していく。一方で、一般に向けて普及啓発することを考えていく。」と回答があった。

キ 今後の予定について

委員の任期及び委嘱について、令和2年度の会議の予定について事務 局から説明があった。